

# 名古屋市上下水道事業中期経営計画「みずプラン32」(案) に対する市民意見の内容および市の考え方

名古屋市上下水道事業中期経営計画「みずプラン32」(案)に対して貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見と、それに対する市の考え方を公表します。

なお、ご意見は、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、原文を一部要約または分割して掲載していますので、ご了承ください。

平成28年3月

## [募集結果]

○ 実施期間	平成28年1月13日(水)～平成28年2月15日(月)
○ 提出状況	意見提出者数 64人 意見数 134件
○ 提出方法	郵送 35人 電子メール 7人 その他 22人

## [意見の内訳]

1. 計画全般	・・・	13件
2. 上下水道事業の現状と課題	・・・	16件
3. 基本方針1 安心・安全で安定した上下水道サービスを提供し続けます		
施策(1) 持続可能で災害に強い施設整備	・・・	17件
施策(2) 災害対応力の強化	・・・	17件
施策(3) 水道水の安全性やおいしさの向上	・・・	9件
4. 基本方針2 健全な水環境の創出や循環型社会の構築に貢献します		
施策(1) 下水道による水環境の向上	・・・	3件
施策(2) 環境にやさしい事業活動の推進	・・・	4件
5. 基本方針3 お客さまから信頼される健全な経営をめざします		
施策(1) 広報広聴を通じた信頼関係の構築	・・・	11件
施策(2) 経営基盤の強化	・・・	15件
施策(3) 広域化・国際協力の推進	・・・	5件
6. 収支計画	・・・	17件
7. その他	・・・	7件
合 計		134件

1. 計画全般 . . . 13件

<p>市民意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水はライフラインの中でも生命に直結するものなので、採算性ばかりで判断せず、公共事業として将来に向けて維持・発展させてほしい。</li> <li>・大変よい計画だと思う。</li> <li>・計画がしっかりできているので、進捗をチェックし、確実に実施してほしい。(3件)</li> <li>・100年以上にわたり安定した供給をしてきている名古屋の水道事業が、今後も安定して続いていくであろうことが、計画を読んで理解できた。</li> <li>・案としては文句なしだが、全てにふみ込み不足と思う。難しい問題がたくさんあるが、市民のために頑張してほしい。</li> <li>・課題への取り組みはこの程度でよいのか。もっとやらなければならないのに先送りにしていないか。</li> <li>・全体的に机上の空論とまではいかないが、構成が甘いと思う。</li> <li>・大きなプランで理解しにくい。</li> <li>・水道事業の継続的な維持をお願いしたい。</li> <li>・施策を実行していくために、広く全市的な職員の活用をしてすすめてほしい。</li> <li>・語尾で「取り組みます。強化をはかります。推進します。」などがあるが、どう判断すべきなのか。</li> </ul>
<p>市の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画が適正に実施されるよう、事業の進行状況や十分な効果を上げているかなど、進捗管理をしっかり行いながら推進していきます。</li> <li>・非常に厳しい経営環境が見込まれますが、「みずプラン32」に基づき、計画的かつ着実に事業を実施し、お客さまに信頼される「なごやの水道・下水道」を維持していきます。</li> <li>・語尾の違いは前文の内容から適切な表現を考慮して記載していることによるものです。</li> </ul>

2. 上下水道事業の現状と課題 ・ ・ ・ 16件

<p>市民意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古くなった施設は早めに手当し、将来に負担を押しつけないようにしていくことが必要である。</li> <li>・老朽化対策を先送りせず着実にすすめるなど、地道なことにしっかり取り組んでほしい。</li> <li>・危険分散、災害対応、更新対応予備力を考慮して、施設能力・規模のダウンサイジングや施設の統廃合などを更新に合わせて検討していくべき。</li> <li>・上下水道事業の「アセットマネジメント」の解説があるとよい。</li> <li>・ビニル管は正式には硬質ポリ塩化ビニル管ではないのか。</li> <li>・ビニル管の耐用年数をダクタイル鋳鉄管と同程度としているが、技術的根拠はあるのか。</li> <li>・水源の多系統化は不要であり、環境を破壊し多額の建設費償還金を負担することになる木曾川水系連絡導水路事業からは撤退してほしい。(2件)</li> <li>・名古屋の水道水はおいしい。(3件)</li> <li>・名古屋の安全でおいしい水道水は我々市民として誇るべきことだと思う。</li> <li>・上下水道事業の経営状況を知らなかった人の割合が79.1%であったことはアピール不足の極みと言える。知らない人々は協力しようとしめない。</li> <li>・家の近くを見渡すと空家が増えている。このままにしておくとも維持費がばかにならないのでは。</li> <li>・地下水を利用した専用水道の増加については経営の合理化だけでなく対応策を検討していくことも必要である。</li> <li>・若手職員の育成とベテラン職員の削減は相反すると思う。</li> </ul>
<p>市の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の改築・更新は将来の改築・更新需要を見据え、事業費の平準化も考慮しながら先送り等することなく、計画的にすすめます。また、今後は施設規模の適正化も踏まえながら検討をすすめていきます。</li> <li>・アセットマネジメントの解説を追記します。</li> <li>・ビニル管は硬質ポリ塩化ビニル管の通称として使用しているものです。</li> <li>・今回示したビニル管の更新の年数は、更新需要を見通すための仮定として設定したものです。ビニル管は、土壌腐食に対しては強いですが、地震対策や漏水防止を考慮して計画的な更新を行っていく必要があると考えています。</li> <li>・渇水時においても市民生活や都市活動に大きな影響が生じないよう安定した給水サービスを提供するため、水源の多系統化は必要であると考えています。なお、木曾川水系連絡導水路事業については、国および水資源機構により、利水者も含めた「検討の場」が設置され、検証にかかる検討がすすめられているところです。</li> <li>・地下水を利用した専用水道の増加の対策としては、設置者等に一定の負担を求めることができる仕組みの創設などを引き続き国へ要望していくとともに、他都市の対応事例等の調査・分析を行っていきます。あわせて、大口使用のお客さまを中心にお客さま訪問を積極的に行い、水道事業への信頼を得る努力を行っていきたくと考えています。</li> <li>・団塊世代を中心とするベテラン職員の大量退職が急激な世代交代の要因となっていますが、定年退職した職員を再任用するなど、各職場で技術・知識の継承ができるような体制を整えていきます。</li> </ul>

3. 基本方針1 安心・安全で安定した上下水道サービスを提供し続けます

施策（1）持続可能で災害に強い施設整備・・・ 17件

<p>市民意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改築・更新の事業費の平準化のために計画期間中の5年間に何をすべきかという提示が無いように思う。</li> <li>・施設の維持管理は長期的視点をもって実施していくことが必要であるため、計画に従って確実にすすめてほしい。</li> <li>・今後、人口は減少し高齢化していくので、既存施設の維持管理をしっかりやってほしい。</li> <li>・インフラの老朽化がすすんでおり、優先順位をつけて対応してほしい。</li> <li>・地震に備えて、インフラの耐震化は欠かせない事項なので、より一層の充実をはかっていくべき。</li> <li>・老朽管の取り替えをもっと急ぎ、その際は必ず耐震管に変更をする必要がある。</li> <li>・施設の耐震化はどのように実施し、間に合わない時はどうするのか。</li> <li>・南海トラフ巨大地震への備えが重要なので、配水管の耐震化率が55%から62%に向上することは評価できる。耐震化率100%をめざし、努力してほしい。</li> <li>・配水管の更新および耐震化は、近々発生すると思われる震災にむけて早急にすすめてほしい。</li> <li>・耐震管に更に一段の技術革新をしてメンテナンスの必要がない管への工夫をしてほしい。</li> <li>・大地震が起こっても水はしっかり確保できるようにしてほしい。（2件）</li> <li>・集中豪雨時の排水、耐震化工事などは早急に実施してほしい。</li> <li>・浸水対策をしっかりとすすめてほしい。特に名古屋駅が水浸しにならないようにしてほしい。</li> <li>・浸水対策はどこをどのように行うか。</li> <li>・大規模な雨水貯留施設を建設しているが、もともとあった用水などをつぶしてきたことが大雨に弱い街になってしまった原因だと思うので、もともとの地形などにあわせて開発を行うべき。</li> <li>・1時間60mm降雨対応の合流式区域へ整備拡大と、特別警報の対応について上下水道局と緑政土木局の強い連携メカニズムの構築が必要である。</li> </ul>
<p>市の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の改築・更新は将来の改築・更新需要を見据え、事業費の平準化も考慮しながら先送り等することなく、計画的にすすめます。</li> <li>・施設の耐震化は多額の費用と長い期間を要するため、改築・更新にあわせて順次耐震化をすすめるとともに、「自助」「共助」の支援といったソフト施策を組み合わせ、総合的な災害対応力の強化をはかり災害に備えます。</li> <li>・配水管においても引き続き新技術の動向に注視するとともに、アセットマネジメントの手法を活用して中長期的な視点から更新計画を策定し、ライフサイクルコストの低減をはかっていきます。</li> <li>・浸水対策としては現在、緊急雨水整備事業をすすめているところですが、これらの浸水対策を着実にすすめるとともに、浸水状況などを検証の上、必要に応じて排水・集水施設の整備を検討します。また、関係局と連携して雨水流出抑制の取り組みなどを行っていきます。</li> </ul>

施策（２）災害対応力の強化・・・ 17件

<p>市民意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生後の対応や復旧が大切であり、他都市や民間企業との連携は欠かせない事項なので、より一層の充実をはかっていくべき。</li> <li>・地下式給水栓アドバイザー制度の活用や地下式給水栓操作訓を防災訓練の必須メニューとするなど、災害時に地下式給水栓を操作できる人を増やしてほしい。（2件）</li> <li>・地下式給水栓、下水道直結式仮設トイレの認知度を向上させるため、中学校区でも広報を行う必要があるのではないかと思う。</li> <li>・備蓄する水道水の保存方法をわかりやすく説明したほうがよい。</li> <li>・災害用飲料水を各戸に配布（年40本）してはどうか。</li> <li>・退職した技術者を緊急時の補助技術者として契約してはどうか。</li> <li>・災害対策で地下式給水栓、震災用マンホールを設置することは必要なことだと思うが、町内では人数に対し不十分という声が圧倒的に多い。</li> <li>・人が多く集まる避難所では水道もトイレも一体的に耐震化が行われているので、局の枠の中だけで考えるのではなく、市全体で取り組んでほしい。</li> <li>・名古屋市と民間企業と地域住民が協力・相談しあえる仕組み・体制を整えてほしい。（2件）</li> <li>・地元に着した指定工事店や区役所、消防署等と連携し、地域住民への訓練、研修等を日常的に行ってほしい。</li> <li>・地域に着している指定工事店との連携などにより仮設給水栓の設置など災害対応力の強化をはかってほしい。（4件）</li> <li>・大雨に対し、雨水貯留槽の普及など家庭でもできることを研究してほしい。</li> </ul>
<p>市の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害に対しては施設整備などのハード対策に加え、「自助」「共助」の支援といったソフト対策が非常に重要であると考えています。飲料水の備蓄などの呼びかけや地域のみなさまや他都市、民間企業等との連携強化などにより災害対応力の強化をはかっていきます。</li> <li>・防災危機管理局や区役所など市の各部局との連携も強化し、災害対応に取り組んでいきます。</li> <li>・名古屋市指定水道工事店協同組合には、地域に着しながらさまざまな役割を担っていただいております。今後も災害に備えた協力体制をさらに強化していきます。</li> </ul>

施策（3）水道水の安全性やおいしさの向上・・・ 9件

<p>市民意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市民の使う水は全て上流の県が生み出したものなので、環境に十分配慮し、節度をもって利用する態度が大切だと思う。</li> <li>・木曽川の水質事故対策や水質保全には「木曽川水系水質保全連絡協議会」や「木曽川水系水道水質協議会」も重要な役割を果たしており、国や県などの関係機関との協力も必要な施策である。（2件）</li> <li>・エコ市がなくなったのはさみしい。</li> <li>・平成15年度より水質基準が逐次改正方式となり、毎年のように項目や基準値が見直しされることを示すとよい。</li> <li>・世界中が危惧している、国際テロによる水源・経路・貯水池への薬物投与、破壊などへの対策をより強化してほしい。</li> <li>・マンションで直結給水にしたいが、本管の径が小さく、本管の変更費用の半額負担の金額が高すぎてできない。</li> <li>・ペットボトル水は水道水に比較しても非常に高価で、マイクロプラスチックによる海洋汚染リスクもあるので、金鯪水を区役所など行政窓口に配置して、名古屋市の水道水をアピールしてはどうか。</li> <li>・人口減少と節水機器の普及、節水意識向上から収入が頭打ち・収益の悪化となるので、安全で確実なおいしい水の供給をアピールして人口流入を呼び込み人口増に結びつけられないか。</li> </ul>
<p>市の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源の水質調査、水質事故対策について、引き続き国や県などの関係機関とさまざまな枠組みで協力し、水質管理に取り組みます。</li> <li>・水源からじゃ口までの水道水質に与えるリスク管理のため水安全計画の運用や継続的なレベルアップなどの取り組みをすすめていきます。</li> <li>・なごやの水道水のおいしさを感じていただくため、水道水を直接飲んでいただく機会を拡充するとともに、安全性やおいしさなどを積極的にPRしていきます。</li> </ul>

4. 基本方針2 健全な水環境の創出や循環型社会の構築に貢献します

施策（1）下水道による水環境の向上・・・ 3件

市民意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大量に水を使用すれば、それだけ下水処理をする量も増え、伊勢湾などへの環境負荷を与えるので。節水型の都市をめざしてほしい。</li> <li>・堀川の水質改善に関する記載がないのは残念である。</li> <li>・合流式下水道の改善は20年も前から叫ばれているが全然すすんでいないように感じる。</li> </ul>
市の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道未整備地域の解消や下水の高度処理の導入、合流式下水道の改善により、伊勢湾や市内河川の水環境の向上のための取り組みを引き続きすすめていきます。</li> <li>・合流式下水道の改善には多額の事業費を要することから、各年度で事業費の平準化をはかりながら、完了することが義務付けられている平成35年度までに完了できるよう着実にすすめていきます。</li> </ul>

施策（2）環境にやさしい事業活動の推進・・・ 4件

市民意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境、エコ社会に向けた取り組みをすすめてほしい。</li> <li>・省エネの視点からスラッジ等廃棄物のリサイクル化、節水コマ等の紹介も行ってほしい。</li> <li>・浄水場の貯水池等の空き地に太陽光発電を設置し、施設内の電力確保をするなど、再生可能エネルギーや土地の有効利用をしてほしい。</li> <li>・再生可能エネルギーの活用として水素の生産などを行っている都市もあるようだが、うまく事業化し、収益につながることを行ってほしい。</li> </ul>
市の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ機器の導入や上下水道局施設の上部空間を利用した太陽光発電設備の設置、下水汚泥焼却灰の有効利用など環境負荷低減の取り組みをすすめてきたところですが、本計画期間には、下水汚泥の固形燃料化事業やささしまライブ24地区における下水熱利用など新たな再生エネルギーの活用に取り組みます。</li> </ul>

5. 基本方針3 お客さまから信頼される健全な経営をめざします

施策(1) 広報広聴を通じた信頼関係の構築・・・ 11件

<p>市民意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に情報・問題意識を共有してもらって、「知ってもらう」ことから「考えてもらう」段階へ戦略的にすすめる手段を考えておくべき。</li> <li>・施設の見学だけでなく、課題を考えてもらう機会も必要なので、ワークショップなどの開催を検討してみてもどうか。</li> <li>・事業内容や費用負担のあり方について市民と合意形成をはかるためには、有識者の審議会など以外に、戦略的・継続的で地道な取り組みが必要だと思ふ。</li> <li>・具体的遠大な計画で、すばらしいと思ふが、広報計画が必要だと思ふ。</li> <li>・施設の老朽化への対応が早急に必要であると強く思つたので、もっと市民にアピールする必要があると思ふ。</li> <li>・災害時に利用できる施設などを、広く市民に理解し、役立ててもらふ方法について、もっと地域でのイベント等でのPR方法を考えるとよい。</li> <li>・広報はインパクトが大事なので、広報なごやで上下水道事業の厳しい現状を大きく掲載すべき。</li> <li>・一般市民をトリガーとした取り組みに対する、事前PRが不足している。広報なごやへの掲載、各区役所窓口へのポスター掲示等をしてはどうか。</li> <li>・未来の料金を担う20代の若者も施設見学などに参加するよう働きかけをしてほしい。大学生も名古屋の街を知ろうといろいろな活動をしている。</li> <li>・市内の小中高大専門学校に対し、水の大切さと下水道科学館や水の歴史資料館がデートスポットや社会勉強の場となる旨をポスター掲出により宣伝するなど、20歳前後の住民に対する周知を徹底して行ふとよいと思ふ。</li> <li>・東山公園の一律500円で行っている支援活動のように上下水道施設への支援活動募金を行い、上下水道への関心・意識を高めるとよいと思ふ。</li> </ul>
<p>市の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さまに事業への理解をすすめていただくため、経営状況などについてわかりやすい広報を行っていきます。</li> <li>・従来の広報では情報が十分に届きにくい若い世代に対しては、親しみやすい広報手法を検討するとともに、若者が集まるイベントを通じてPRを行ふなど効果的な広報を行っていきます。</li> <li>・広報広聴については、年齢や事業の認知度などに合わせて内容及び手段を選択し、それらを組み合わせて戦略的に推進していきます。</li> <li>・みなさまからご提案いただいた広報手法に関するさまざまなご意見を参考に今後の広報事業をすすめていきます。</li> </ul>



施策（２）経営基盤の強化・・・ 15件

市民意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症や、脳梗塞予防のための、「健康のために水を飲もう」運動を推進してほしい。</li> <li>・もっと水道水を利用してもらえるよう、古いマンションを直結給水にすることや、消費を市民にふやしてもらい利益をあげることが必要である。</li> <li>・収益の確保の数値目標を定め、達成状況の分析やふり返りが必要である。</li> <li>・民間企業と協力して収益向上策を行ってはどうか。</li> <li>・水道水の安さを見える化し、家計や環境へのやさしさをもっとPRすべき。</li> <li>・民間活力の導入でスーパーやコンビニで水道水をペットボトルで販売することを検討し、販売地域も関西地区などを検討するとよいと思う。</li> <li>・既存資産の有効活用に具体策はあるのか。</li> <li>・資産の有効活用の対象となる未・低利用の土地や建物を市民に知らせるといろいろなアイデアが出てくると思う。</li> <li>・職員数を5年で100名削減することに対し、業務量が変わらないのであれば、委託化など具体的な方法論や技術継承等の対応について示すべき。</li> <li>・経営の合理化は大切な事だと思うが、営業所によって上下水道の工事申請から、工事完了までの期間にばらつきがあるように感じる。職員定数削減により、現状以上に各業務に支障が出るのではないかと懸念している。</li> <li>・各区の営業所を減らさないでほしい。</li> <li>・地元民間企業を積極的に活用し、業務委託の範囲を広げてほしい。（2件）</li> <li>・将来につながる人材の確保と育成に努めていく必要がある。</li> <li>・若手・女性職員の活躍の場の拡大は、時宜にかなったよいことだと思う。</li> </ul>
市の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道水の安全性やおいしさ、価格面の安さなどさまざまな優位性をわかりやすくPRしていくとともに、健康に役立つ水利用や環境にやさしい水利用などさまざまな水道水の利用方法を提案していきます。</li> <li>・資産の有効活用は、広く民間に情報提供をしながら、売却や事業用定期借地権設定契約による貸し付けなどを積極的にすすめていきます。</li> <li>・職員定数の削減や業務執行体制の見直しにより、事務の簡素化・集約化等をすすめますが、業務委託の活用などによりお客さまサービス水準を維持していきます。</li> </ul>

施策（３）広域化・国際協力の推進・・・ 5件

市民意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外から多くの技術者を受け入れ研修などを行っていることはたいへんいいことだとおもう。</li> <li>・海外をインフラの投資先として考えるのではなく、それぞれの地域や国に応用できる、持続可能な環境に配慮した水道事業の担い手を育てるという視点で支援を行ってほしい。</li> <li>・開発途上国等への技術支援等を今後も活発に行ってほしい。（2件）</li> <li>・開発途上国の指導により水のビジネスを発展させることを頑張してほしい。</li> </ul>
市の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際協力については国際的な水にかかる課題解決の一助を担うよう引き続き推進していきます。</li> </ul>

6. 収支計画 . . . 17件

<p>市民意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた予算の中で確実に遂行されるよう計画的に行ってほしい。(3件)</li> <li>・想定外の支出が発生するなど、収支計画通り上手くいくか心配だ。</li> <li>・過剰な投資や過剰な需要予測はすべきではない。</li> <li>・水道料金が高くてもおいしい水を手に入れることができるから納得しているので、それなりのお金を使って事業を行ってほしい。</li> <li>・人口減少や節水機器の普及、節水意識向上から収益は減少していく一方、インフラの老朽化で経費は増大することになるので、事業所統合や間接費の削減、施設の自動化、無駄を省く経営体質改善等々の具体的なコスト削減対策が必要である。(3件)</li> <li>・基金の設立など、年度をまたいで更新費を積み立てることはできないのか。</li> <li>・水道事業、工業用水道事業で利益発生しているが、利益発生するなら料金値下げすべきではないか。仮に将来の更新投資用の利益発生なら、抽象論ではなく、概ねいくらか、何%程度を想定しているのか、などの考え方を示すべき。</li> <li>・下水道事業において基準外で負担金を収受しているかどうかかわからないので、明示すべきであり、過度に税金が投入されているということなら、この状況についての方向性を明示すべき。</li> <li>・不測の事態や収入減で継続的な赤字が予想される場合は、料金値上げ等も含めて、早め早めに広報活動を行い、対策に着手してほしい。手遅れになることや子や孫の代に赤字を先送りすることは避けねばならない。</li> <li>・施設の耐震化など安心・安全のためにはお金がかかると思うので、財政が厳しいのであれば、相応の負担を料金として求めるべき。(2件)</li> <li>・上下水道事業は持続性を持って健全に運営されるべきであり、適切な時期に、適切な改定率の料金改定がされることが不可欠だと思う。</li> <li>・収支のトレンドを見ると、将来赤字に突入するのではないかと思われるので、本計画期間中にすみやかに収支ともに改善し、先に見える計画にすべき。</li> </ul>
<p>市の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画期間中は経営改善などにより黒字を維持しながら、必要な事業を着実に実施することとしています。長期的な視点に立って、絶えず経営改善策や増収策を考え、今後も老朽化対策や災害対策など安心・安全で安定した上下水道を確保するために必要な事業は先送り等することなく、着実に実施していく必要があると考えています。また、お客さまに経営状況などについてわかりやすい広報を行っていきます。</li> <li>・将来の改築・更新のために積み立てるものとして、建設改良積立金があります。計画期間中に発生する純利益は建設改良積立金に一旦積み立てますが、全額を喫緊の課題である地震対策などの財源として活用していく予定です。</li> <li>・下水道事業会計において総務省の通知に示されている負担金等（基準内繰出金）以外では、生活扶助適用者等に対する使用料割引負担金などを一般会計から繰り入れています。財政支援を目的としたものではありません。</li> </ul>

7. その他 . . . 7件

<p>市民意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋に移り住んで半世紀になるが、断水や濁水などの水道のトラブルは記憶にない。以前、水道メータの検針時に漏水を教えてもらったので、大きな漏水事故にならずに済み大変感謝している。</li> <li>・漏水で困っていた時に上下水道局に紹介してもらった地元の水道工事店には、高額請求される事なく、とても親切に修繕をしてもらった。色々な詐欺事件がある今、信用できる業者を見つけるのは難しいので上下水道局の紹介はとても助かる。</li> <li>・1月23日から1月25日の寒波では福岡県大牟田市で長期断水があった。名古屋市でも原因を追究し、出来る限り断水がおきないようにしてほしい。</li> <li>・水道料金をクレジットカードで支払えるようにしてほしい。</li> <li>・道路を浸透性アスファルトで作り、各住宅の新築時には浸透性のますおよび雨水タンクを設置することで、雨水から井水の循環を作り、井水を中間水に使用するとよいと思う。</li> <li>・排水設備調書も各営業所で閲覧できるようにしてほしい。</li> <li>・今風のかっこいい制服にしたらどうか。</li> </ul>
<p>市の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員がお客さまから修繕工事に関する問い合わせを受けた場合は契約時の注意事項などをわかりやすく説明することや、指定工事店に修繕工事等における契約前の工事概要や見積額等を丁寧に説明するよう指導するなどの取り組みを引き続き行っていきます。</li> <li>・凍結被害への対応としては、凍結が発生するとされる-4℃を下回ると予想される場合、凍結を防止する方法や凍結や破裂が起きてしまった場合の対処方法などについて局ウェブサイトや各報道機関などを通じて注意喚起をするとともに、問い合わせや修繕依頼に対応できる体制を事前に整えるようにしています。</li> <li>・その他、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>

お問い合わせ先

名古屋市上下水道局 経営企画課

TEL 052-972-3612 / FAX 052-961-0276

局公式ウェブサイト <http://www.water.city.nagoya.jp/>